

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Blossamジュニア柏木教室			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年2月28日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年2月28日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成	令和7年2月28日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育をメインにスタッフとマンツーマンでの療育を行っていること。 保育士、児童指導員、専門職(作業療法士)の免許を持っているスタッフが在籍していて多方面の職種からの知識や経験が療育プログラム、支援に活かされていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育を担当するスタッフは固定化せずに、色々なスタッフと関わることが出来るようにしている。 スタッフの得意分野を活かせるよう、療育プログラムを組み立てて、質の高い療育プログラムの提供を行っている。 日々の支援に関して、スタッフ間で話し合いをする時間を作り、様々な観点からアプローチ出来るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様のご様子や保護者様のご要望で、同じ時間帯のお子様同士が関わることが出来るよう時間を作っている。 支援について、年間の研修以外にも必要に応じて随時本部スーパーバイザーによる研修を受けられるようにしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムの立案は、運動、工作、音楽、学習の4つの柱を中心に、5領域に沿ってその日担当するスタッフが立案していること。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方からの療育へのご要望やお子様の興味、関心、好きなことを活動プログラムに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様が見通しを持って、活動プログラムに取り組める視覚的なコミュニケーションツール(写真や絵カード、タイムタイマー等)を使用し、スケジュールを提示している。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方が、活動の様子をその場で見られること。 保護者の方も一緒に活動に参加したり、活動場面を見てもらいながら、アドバイスをしていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育時間の最後には保護者の方へのフィードバックの時間を作り、お子様に関しての情報共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご自宅でも使用できる教材、玩具の紹介やご自宅でも出来る活動の提案、対応方法について保護者の方に情報共有している。
	事業所の弱み(※)だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 大集団療育、小集団での療育が実施出来ていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育をメインに行っている為、同じ時間帯に来所しているお子様の人数が少ない為。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方のご要望に応じて、同じ時間帯の他児同士が関わる時間を作ることが出来るようにしていく。 イベント企画して、多くの保護者の方やお子様が集まる機会を作り、集団で活動する機会を作っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 療育時間が短いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 1コマ50分の療育時間が基本となっている為、長時間の療育は基本的に行えていない為。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方のご要望に応じて、療育時間の延長を検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> お子様が通われている保育所や幼稚園の訪問があまり出来ていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様が通われている保育所や幼稚園への訪問する時間を作ることが出来ていない為。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方のご要望に応じて、お子様が通われている保育所や幼稚園への訪問する時間を確保出来るようにしていく。また、訪問以外にも電話でのやり取り等、情報共有する機会を作っていく。